

英語教育

R6 成果

- ・発音の練習など、退屈に感じやすい内容であっても ALT が楽しい活動を仕組むことで、児童が積極的に英語を話すことができた。
- ・低学年では、歌やゲームを中心に、楽しみながら英語での表現に慣れ親しむことができた。
- ・高学年では、Small Talk を毎時間位置づけ、日常生活に関連した場面について、既習表現を活用して1分間程度の会話をすることができた。
- ・My Picture Dictionary を活用して、Small Talk や交流では、質問や相槌をするなど相手意識をもって会話をすることができた。
- ・教科書をもとにカリキュラムが明確に設けられていて、見通しをもって学習活動を行うことができた。

R6 課題と R7 の方向

- ・充実した授業が行えるので、ALT の先生の授業が増やせるとよい。
→ALT の先生の授業数を増やせるように、中学校区の先生と相談する。
- ・ALT との授業の打ち合わせの時間がもう少しとれるとよかった。
→月予定が出ているので、見通しをもって、昼休みや放課後に打ち合わせるようにする。
- ・話すことに抵抗がある子どももいないわけではない。
→チャンツやペア活動等児童が楽しめる活動を取り入れて、子どもたちの良い姿を価値付ける場を増やし、話すことへの抵抗感の払拭へつなげていく。